Project No.
37 | ヘルスケア

えひめ！みんなでこどもまんなかチーム

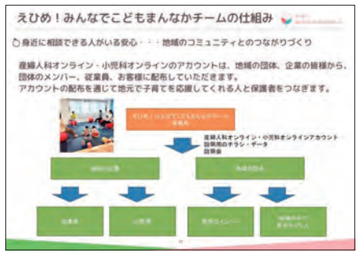
TRY ANGLE EHIME
トライアングルエヒメ

採択事業者名 株式会社Kids Public

コンソーシアム構成員 株式会社Kids Public ｜ 株式会社エルパティオ ｜ 株式会社Publicus

勉強会の実施概要

勉強会の目的	本年度地域団体に対して、本チームの活動の理解と共感を深めることで、下記の効果を狙う。 ❶次年度以降の拡散力の強化 ❷団体内での利用促進 ❸子育ては地域全体でおこなうもの、誰もが関わることができるものという考え方の普及。加えて、拡大のためのUI改善のヒアリングを行う。
勉強会の当初のゴール想定と結果	本事業は、「産婦人科オンライン・小児科オンライン」の地域での実装を目指す。同サービスは多くの企業・自治体に導入されており、その効果は既に実証されている。課題として、従来のチャネルのみでは真に困難を抱えている人へのリーチがまだ十分でない点があげられる。 そのためには、地域の団体・企業を通じ、子育て中の保護者へのリーチチャネルの多様化・量の獲得が重要であり、本事業を推奨したくなるサービスオペレーションUX改善が重要である。 勉強会では、利用団体の代表等の意見交換により、共感をより高め共に具体的なUI改善のための意見をいただくことが出来た。
参加者	本年度導入団体5団体
協議アジェンダ	❶えひめ!こどもまんなかチームの紹介 ❷日本と愛媛県を取り巻く少子化の現状と企業への影響 ❸サービスの紹介 ❹協議・意見交換
協議による実装推進上の重要な決定事項/示唆	UXの改善には、デザインやUIの問題以上に、地域で子どものことを考えている人々への本サービスを推奨する動機づけが重要である。特に「寄り添ってくれる」安心感が評価されている。本チームの考え方など共感を引き出すコンテンツ面での改修がUXの向上に資すると考えられる。
その他補足事項など（開催頻度、規模など）	オンラインにて開催



デジタル実装協議フォーマット

目指す「実装成果」の定義	本事業は、子どもに一番身近な保護者を地域全体で支え、子育てで孤立する人をなくし、社会全体で子どもを育てる環境を作ることを目指す。そのために、子育て中の保護者に対して、❶専門家にいつでも相談できる安心、❷身近に相談できる人のいる安心の2つの安心を提供しすること
データに基づく協議ポイントの整理	UXの改善には、利用をした団体・個人等からの主観的な考えのヒアリングが重要になり、本勉強会では導入団体の代表等に、感想等をヒアリングした
主なデータ項目	本事業では、「産婦人科オンライン・小児科オンライン」の導入団体の属性、および利用者のサービス利用にかかるデータを用いている。 団体:規模・所在地・業種 個人:子供の状況・親の年齢・相談方法と回数、サービスでの説明の理解度・再利用意向
ガイドライン（含む具体例）	本サービスは、地域の団体・企業を通じて、子育て中の保護者に「産婦人オンライン・小児科オンライン」を提供する。フローは下記の通りである。 ❶地域の団体がプロジェクトWEBサイトから申し込む ❷事務局より、「合言葉」および利用者説明用ツール（データ・紙）を配布する ❸各団体が、利用者・従業員・顧客等に説明し、チラシ等資料を配布する ❹個人が資料に記載された小児科オンライン・産婦人科オンラインのサイトから合言葉を入力し、アカウントを作成する ❺個人が相談したいときに自身のアカウントで相談する
「実装成果」実現に向けた示唆/考察	「産婦人科オンライン・小児科オンライン」の利用者の再度の利用意向は100%であった。専門家につながる安心は担保できるサービスのため、今後はいかに真に孤立している保護者にリーチを構築していくかが非常に重要になり、その際に共感に基づくUX改善が非常に重要である。

Copyright © EHIME Prefecture. All rights reserved.